

【対象保護者40名 回収数31 割合78%】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	1	0	0	法令を順守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	3	0	1	人員配置数は基準以上を満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	2	0	2	構造上の課題はありますが、室内に衝立等を利用し、適切な活動ができるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	3	0	0	毎日、希釈液にて清掃を行い清潔な生活環境作りに努めています。 子どもの活動に合わせた空間を確保しています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	28	2	0	1	お子様保護者様のニーズや課題をお聞きし、一人一人課題にあった児童発達支援計画を作成しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	2	1	1	一人一人に合わせてガイドラインの支援内容から必要な項目を選択し、作成しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	1	0	0	支援計画に基づき活動プログラムを立案しています。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	28	2	0	1	活動内容が固定化しないよう職員間で検討工夫し計画しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25	4	1	1	地域のこども園や事業所内託児所との交流を行っています。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1	0	0	契約時に説明を行っています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26	4	0	1	支援計画書の変更時に説明を行っていますが、ご不明な点がありましたら尋ねていただくように説明をしています。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	20	6	2	3	積極的な支援は実施しておりませんが、保護者様の不安が大きい時には、思いに寄り添い対策を一緒に考えています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	0	0	0	保護者様と情報交換を行い、共通理解できるように心がけています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	2	1	3	ご相談があった場合は、随時対応しています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	5	0	1	父母の会の研修会、懇親会等を行っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	3	0	1	子どもの健康や発達状況等について、ご相談があった場合は、随時対応しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	0	0	0	送迎時に保護者様と意思疎通や情報伝達を行うように心がけています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	4	0	1	ひよこだよりを毎月始めに発行しています。自己評価はH30年度よりホームページにて公表します。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31	0	0	0	個人情報の管理には十分配慮し、全職員にも周知徹底しております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	6	0	6	各マニュアルは整備し保護者様への周知・説明を行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	3	1	6	年2回の総合避難訓練と毎月、避難訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1	0	0	子ども達にとって、楽しく有意義なものになるように質の高いサービス提供を心掛けます。
	23	事業所の支援に満足しているか	30	1	0	0	今後も一人一人に寄り添った支援を心掛けます。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。